

西日本旅客鉄道株式会社の紀伊内原変電所における  
P C B 含有絶縁油の漏えいについて

平成 1 8 年 6 月 2 6 日  
中部近畿産業保安監督部近畿支部

本年 5 月 1 1 日に発生した西日本旅客鉄道株式会社（以下、J R 西日本という。）の紀伊内原変電所においてポリ塩化ビフェニル（以下、P C B という。）を含有する絶縁油が漏えいし、5 月 1 8 日に変電所構外に絶縁油が漏えいしたことが判明しました。本日、この件について J R 西日本から当支部に再発防止対策に関する報告書が別添のとおり提出されました。

当支部としては、J R 西日本に対して、今回発生した P C B 含有絶縁油の漏えいについて、口頭で嚴重注意するとともに、提出された再発防止対策の報告書の内容を確実に実施することを要請しました。

電力第13号  
平成18年6月26日

中部近畿産業保安監督部長  
吉田盛厚殿

西日本旅客鉄道株式会社  
代表取締役副社長  
兼執行役員鉄道本部長  
丸尾和明

紀勢線紀伊内原変電所での絶縁油漏えい事故に係る再発防止対策について

平成18年5月11日紀勢線紀伊内原変電所において整流器内の絶縁油漏えいを発生させました。

今回の事態を受け、下記のとおり対策を実施しますので、ご報告いたします。

なお、事故の発生した地元の皆様には、引き続き誠意を持って対応してまいり所存でありますので今後ともご指導を賜りますようお願いいたします。

記

1. 電気事業法の法令順守の徹底

電気関係報告規則および電気設備に関する技術基準を定める省令に基づき以下のとおり対応いたします。

- (1) 現在使用中の電気工作物でPCBの含有が確認されているものについては、届出書類を作成のうえ6月末までに提出いたします。
- (2) 今後、万一絶縁油の漏えい事故を発生させた場合には、速やかに届出するよう事務連絡により各支社に指示いたしました。また、環境管理マニュアルに関係当局として、管轄する産業保安監督部を明記いたします。
- (3) 今後、PCBを含有する絶縁油を使用する電気工作物を廃止した場合は、遅滞なく管轄する産業保安監督部に届出するよう事務連絡により各支社に指示いたしました。また、環境管理マニュアルに本事項を明記いたします。
- (4) 現在、PCBを含有する絶縁油を使用する電気工作物の新たな電路への施設は行っておりませんが、再度徹底を図ります。

## 2. 有害化学物質の取り扱い

環境管理テキストおよび環境管理マニュアルを定めて環境管理に取り組んでいたところですが、有害化学物質を取り扱う場合の確認方法や手順の徹底が不十分であったと反省しており以下のとおり対応してまいります。

- (1) 各種研修（環境管理責任者研修：7月、環境管理実務者研修：7～9月）を通して、実務者に対し有害化学物質に対する知識を徹底してまいります。
- (2) 有害化学物質の確認方法や手順について環境管理テキスト及び環境管理マニュアルの見直しを行います。

## 3. 絶縁油漏えい防止対策の実施

- (1) 絶縁油を使用している電気工作物について、構造上絶縁油が外部に流出する可能性があるかどうかの点検調査を進めておりますが、7月上旬までに完了いたします。
- (2) 上記点検調査の結果を受け、構造上絶縁油が外部に流出する可能性がある電気工作物について個別に対策の検討を行い、P C B含有が判明している等の緊急性の高いものから順次必要な改修を実施していきます。  
なお、和歌山支社管内に設置された今回の整流器と同様の構造の19台については、7月上旬までに放圧装置の改修を実施します。
- (3) 新たに設置する電気工作物については、その仕様に絶縁油の流出防止対策を盛り込みます。
- (4) 万が一、絶縁油が敷地外にまたは地中に漏えいした場合の対処方法を、油の拭き取り、土壌の回収範囲に留意して環境管理マニュアルに明記し研修等を通じて実務者に徹底します。

## 4. 地元住民の皆様への対応

今回の事故に関して、地元の皆様には水質調査の結果や今後の対策等について説明を行ってきているところでありますが、今後とも引き続き誠意をもって対応してまいります。

なお、現在分析中の地元住民の皆様からご要望のあった27箇所の水質調査等につきましては7月20日頃結果が判明する予定であります。